

### 自由意見

- ・また来年参加する。
- ・これからも毎年来たいと思う。
- ・青森赤坂雪かき道場を開催することにしたい。また、都市近郊を対象に除雪ボランティアを募集したい。
- ・今年は雪不足のため実効性が少なかったが、来年以降も継続してほしい。
- ・雪がありすぎる場合、なさすぎる場合でも続けられる仕組み、企画を作ることの素晴らしさと難しさを感じた。来年度も開催されることを期待している。
- ・交流会では、地元の山菜などを出してもらおうと外から来た人は喜ぶ。
- ・2～3人の小グループをつくり、作業中互いの安全確認を必ず行うようにすればよいと思う。20～30人規模になれば初対面の人が多くなり、「ヒト」としか認識できないが、具体的な名前を覚えられれば「～さん」という知人になるので、注意力が向上すると思う。
- ・昨年は一度しか呼ばれなかったので、もう少し呼んでほしい。
- ・今後も続けていきたい。

### (5) 今後の方向性

平成19年度の湯沢町社会福祉協議会事業計画では、福祉除雪ボランティア隊を湯沢町に来ていただくだけの一方通行的なボランティアではなく、相互に助け合えるボランティア交流にするための検討を進めることとしており、今回の交流会を踏まえて、より実効性の高い事業を実施する。

また、町外の福祉除雪ボランティア隊登録者は、首都圏を中心に「点」として存在しており、これを面的な広がりにしていくため、他の社協やボランティア団体と連携した新規事業について検討を進める。

## 4 - 5 除雪ボランティアの育成と受け入れの仕組みづくり

### 越後雪かき道場の開催

【新潟部会】

#### (1) 実施概要

##### 1) 目的

屋根雪及び家屋周辺の雪処理は、自助または地域内での対処が基本であるが、昨年の記録的豪雪のような場合、地域内における雪処理の担い手が完全に不足するため、地域外からの応援や協力に頼らざるを得ない。災害救助法や自治体間の防災協定等に基づく広域的な公的支援(公助)は不可欠であるが、「民」の力をうまく活用する方法についても考えていく必要がある。

平成18年豪雪では、新潟県内において、雪国以外の地域の方から除雪ボランティアの申し出を多数いただいております。従前はみられなかった傾向である。しかし、雪に不慣れなボランティアも多く、即戦力にならない状況もみられた。また、受入側の自治体等もこのような状況に慣れていないため、断るケースもあった。

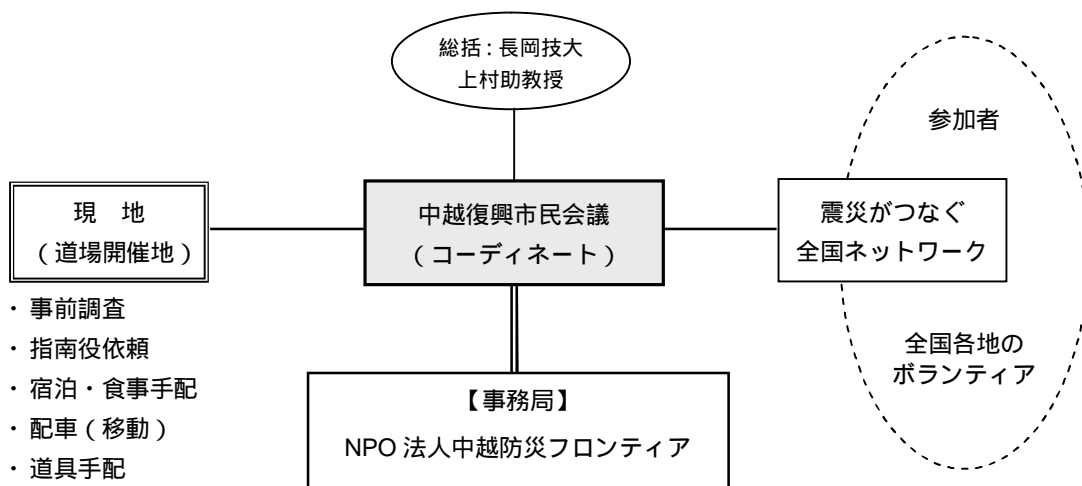
雪処理に慣れていない方がいきなり雪国を訪れて、自立的に作業を行うことは困難である。必要な知識と技術を学び、実施地域・場所をコーディネートしてもらってはじめて力を発揮することができる。しかも豪雪になってからあわてて対応するのではなく、平時からそのような学びと体験の機会を設け、経験のない方に雪に慣れていただくとともに、雪国の地域住民と顔の見える関係を築いていくことが重要である。

そのため、新潟部会では、地域外からのボランティア等に雪処理作業に必要な技能や安全確保の知識などを伝えるとともに、受け入れのための仕組みを構築する取組として、「越後雪かき道場」を企画・実施した。

##### 2) 実施体制

越後雪かき道場は、NPO法人中越防災フロンティアを中心に、多くの関係機関の連携の下で実施しており、実証実験における体制を整理すると、図表4-51のとおりである。

図表4-51 越後雪かき道場の実施体制



### 3) 越後雪かき道場の基本的流れ

越後雪かき道場は、雪国以外の地域からのボランティアなど、雪に不慣れな初心者等を主たる対象とし、概ね2日間の日程(1泊2日)で開催する。

初級コースの場合、プログラムの最初にオリエンテーションを兼ねて、「雪かき道 越後流指南書」(本書2-4参照)に基づき、雪処理の注意点やポイントを伝え(座学) 続いて地元のベテラン(師範)からかんじきのはき方、スコップやスノーダンプの使い方、雪下ろしのコツなどを実技指導していただき、実際に現場で雪処理作業を行うという流れが基本である。

プログラムの内容に合わせて、以下のように、「初級」「中級」「上級」の各コースを想定しており、参加者には最後に図表4-52のような修了認定証(名前入り)を発行する。

- 初級コース : 地上での除雪作業が中心
- 中級コース : 屋根雪下ろし作業が中心
- 上級コース : 小型除雪機械及びホイールローダの操作が中心

図表4-52 越後雪かき道場 修了認定証

<p><b>越後雪かき道場</b> 平成19年1月21日</p> <p><b>初級コース修了認定証</b></p> <p>殿</p> <p>新潟の雪を知り、スコップで雪を切る技術を習得し、スノーダンプで適切に除雪処理ができる能力を有することを証明します。</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>スコップ</td> <td>屋根雪除雪</td> <td>小形除雪機</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スノーダンプ</td> <td>雪庇処理</td> <td>ホイールローダ</td> </tr> </table> <p>NPO 中越防災フロンティア</p>	種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機		スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ	<p><b>除雪安全十箇条</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一、決して一人で除雪するべからず</li> <li>一、不用意に軒下に近づぐべからず</li> <li>一、道具にこだわり手入れ怠ることなかれ</li> <li>一、水しみず暑すぎざる格好をすべし</li> <li>一、はしごかけ屋根登るまでが肝要と心得よ</li> <li>一、投げる先に人ありと肝に銘じらるべし</li> <li>一、水辺と除雪機には近づぐべからず</li> <li>一、過信せず油断せず常に最悪を心がけよ</li> <li>一、先を眺み先手を打って全格もつべし</li> <li>一、声掛け合い助け合って作業すべし</li> </ul>
種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機						
	スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ						
<p><b>越後雪かき道場</b> 平成19年1月21日</p> <p><b>中級コース修了認定証</b></p> <p>殿</p> <p>除雪の基本技術を習得し、適切な雪庇処理及び屋根雪処理ができる能力を有することを証明します。</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>スコップ</td> <td>屋根雪除雪</td> <td>小形除雪機</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スノーダンプ</td> <td>雪庇処理</td> <td>ホイールローダ</td> </tr> </table> <p>NPO 中越防災フロンティア</p>	種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機		スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ	<p><b>除雪安全十箇条</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一、決して一人で除雪するべからず</li> <li>一、不用意に軒下に近づぐべからず</li> <li>一、道具にこだわり手入れ怠ることなかれ</li> <li>一、水しみず暑すぎざる格好をすべし</li> <li>一、はしごかけ屋根登るまでが肝要と心得よ</li> <li>一、投げる先に人ありと肝に銘じらるべし</li> <li>一、水辺と除雪機には近づぐべからず</li> <li>一、過信せず油断せず常に最悪を心がけよ</li> <li>一、先を眺み先手を打って全格もつべし</li> <li>一、声掛け合い助け合って作業すべし</li> </ul>
種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機						
	スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ						
<p><b>越後雪かき道場</b> 平成19年1月21日</p> <p><b>上級コース修了認定証</b></p> <p>殿</p> <p>小形除雪機械及びホイールローダを操作し、効率的に除雪処理ができる技術を有することを証明します。</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>スコップ</td> <td>屋根雪除雪</td> <td>小形除雪機</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スノーダンプ</td> <td>雪庇処理</td> <td>ホイールローダ</td> </tr> </table> <p>NPO 中越防災フロンティア</p>	種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機		スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ	<p><b>除雪安全十箇条</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一、決して一人で除雪するべからず</li> <li>一、不用意に軒下に近づぐべからず</li> <li>一、道具にこだわり手入れ怠ることなかれ</li> <li>一、水しみず暑すぎざる格好をすべし</li> <li>一、はしごかけ屋根登るまでが肝要と心得よ</li> <li>一、投げる先に人ありと肝に銘じらるべし</li> <li>一、水辺と除雪機には近づぐべからず</li> <li>一、過信せず油断せず常に最悪を心がけよ</li> <li>一、先を眺み先手を打って全格もつべし</li> <li>一、声掛け合い助け合って作業すべし</li> </ul>
種類	スコップ	屋根雪除雪	小形除雪機						
	スノーダンプ	雪庇処理	ホイールローダ						

4) 実施日程と実績

越後雪かき道場は、平成19年1月及び2月の期間で合計4回開催し(新潟県内3回、県外1回)実施実績は図表4-53のとおりである。すべて2日間の日程で、初級コースを3回、上級コースを1回開催しており、全修了者数は延べ83人となっている。

図表4-53 平成18年度越後雪かき道場 実施実績

回数	コース	開催日	開催地(座学の会場)	修了者数
第1回	初級	1月20日~21日	長岡市 山古志種芋原 あまやち会館	13
第2回	初級	2月3日~4日	小千谷市 塩谷地区 芒種庵	24
第3回	上級	2月11日~12日	長岡市 山古志体育館会議室	14
第4回	初級	2月24日~25日	長野県飯山市 戸狩地区 高源寺	32

合計 83

**ボランティア 除雪に活用を 豪雪対策で国や県**

**「雪かき道場」や指導書**

人手不足に悩む豪雪地帯で、ボランティアに雪下ろしを手伝ってもらおうと、国や県が、初心者向けのマニュアル作りや体験講座、ボランティアの調整役となる職員向け講習会を企画している。昨冬の平成18年豪雪では住民が除雪に追われたが、危険を伴う雪下ろし作業をボランティアに任せ、過疎高齢化が進むなか、外部の方を活用する方法が模索されている。

県によると、昨冬の雪害による県内の死者は320人(死者数)に上った。国土交通省などの補助事業、国土施策創出調査では、安全な除雪のやり方をまとめた「除雪安全ガイドブック」を作成する。12月下旬に雪害の専門家や自治体担当者らが集まった「雪かき道場」を行う。諸橋さんは、過疎高齢化で隣近所の助け合いだけでは除雪が難しい地域が出てきた。税金での除雪も見込めず、いかに外力を借りるかが課題と話している。

「ボランティアと住民の交流につながるは意欲を」と期待する。除雪ボランティアの募集を1日から始めた県雪対策室では、南魚沼地域振興局で豪雪地帯の市町村のボランティア担当者

昨冬の平成18年豪雪で仮設住宅の雪下ろしをする住民やボランティアたち  
11月1日、十日町市中条で

を対象に、コーディネーター育成のために講習会を8日に開く。ボランティアの受け入れ実績がある湯沢町社会福祉協議会から、受け入れ組織の立ち上げや、スコップ、長靴の手配の仕方など具体的な方法を学ぶ。同室は「調整が大変」と食わず嫌いの自治体もある。活用すればボランティアの善意も無駄にならない」と話す。

一方、受け入れ側には課題が残る。広範囲に広がる対象世帯の中で、ボランティアをどこに派遣するのかを公平に選ぶ作業が必要だからだ。

今年1月、豪雪による災害救助法が適用された南魚沼市では、約3千近い高齢者世帯や母子世帯から、援助対象を400世帯に絞り込んだ。同市や社会福祉協議会は今年冬、派遣先の公平性を担保するため、選考委員会を設けることにした。

平成18年12月7日 朝日新聞(新潟版)